



野菜・果樹・畑作物等対策委員会

甘味資源調査で種子島を視察

「1月21日」自民党の野菜・果樹・畑作物等対策委員会が甘味資源作物現地調査のため種子島を視察に訪れました。

サトウキビ圃場、かんしよのマルチ張りの実演、サトウキビ新品種の3圃場を回りました。

中種子町増田のさとうきび圃場で、生産状況・糖度の推移を説明。操業開始から1ヶ月、買入糖度は11・8度と基準糖度を2度下回り、基準糖度帯未満の割合が約90%と台風の影響から回復していない状況を強調しました。面積も年々減少傾向にあり、春植え推進で面積確保を進めていく予定と説明しました。

西之表市の県農業開発総合センター熊毛支場では、マルチ張りの実演を行いました。



▲マルチ張りの実演

←サトウキビ
新品種の説明



→サトウキビの生産
状況・糖度の推移の
説明



した。マルチの効果や生分解性マルチ（除去労力や廃棄費用が不要）とポリエチレンフィルムとの比較をしました。同委員会からは、生分解性マルチは畑に残らないか、価格差はどの程度なのかなどの質問がありました。

沖縄農業研究センター種子島拠点では、サトウキビの新品種（KY10・1380）についての説明があり、主要品種「農林8号」と比べ、茎数が多く、株出し萌芽性にも優れるため多収で、種子島の土壌に適しているとの説明がありました。同委員会からは、「あまみ・沖縄にも適しているか。いつから農家に配布できるか。」との質問がありました。

営農情報

平成31年産でん粉原料用甘しょ代金が決定しました!!

平成31年産でん粉原料用甘しょ売渡契約に関する価格については、「でん粉原料用甘しょの価格形成及び取引に関するガイドライン」に基づき、下記の通りに決まりました。

交付金

1俵あたり：994円（前年比＋19円）

原料代

1俵あたり：364円（前年比＋14円）

◎ 生産者取引原料用甘しょ代金

1俵あたり【交付金＝994円】＋【原料代＝364円】＝1,358円
（前年比：＋33円）

